

中国 5 県における発災時の相互支援体制構築に向けた  
地域の支援団体育成・強化事業  
公募結果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	一般社団法人ほっと岡山
代表者名	服部育代
申請事業名 主題	広域避難者支援基盤強化プロジェクト
申請事業名 副題	被災者一人ひとりに向けた災害ケースマネジメントの実践
エリア／テーマ	【岡山県】 申請コース:B(被災者支援専門組織強化枠)
解決すべき社会課題	災害支援事業 2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 ⑤孤独・孤立や社会的差別の解消に向けた支援 3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 ⑧安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 ⑨その他 大規模災害時に発生する広域避難者支援
申請事業の概要	1 大規模災害時における広域避難者支援の体制構築 ②災害文化の醸成を後押しする ③災害時対応(広域避難者受け入れ支援の実施)
事業実施地域	岡山県内、中国地方、四国地方、全国
申請事業期間	(開始月)2023年8月～(完了月)2026年2月
申請助成額	16,000,930円 【内訳】直接事業費 13,544,160円、管理的経費 1,918,670円、 評価関連経費 538,100円

■ 審査コメント

- ✓ 避難者支援の実績を生かし、研修とケース調査により、災害時に活かされる情報と体制づくりができると思います。
- ✓ 事業趣旨にかかる活動の継続に向けては、資金計画における人件費見合い分の担保または継続可能体制の構築が課題と考えます。
- ✓ ロジックが広域避難者と通常の被災者と混ざっている印象がある。
- ✓ 短期アウトカムに具体的な指標や数値等の記載がないのが気になりましたが、ケース調査により明確に設定できるのではないかと思います。
- ✓ 実施体制については記載がなかったので要確認
- ✓ 広域避難者支援の実績もあり、事業実施に向けたスキルは有していると考えます。"
- ✓ 研修と調査を行いながら組織の基盤を整備し、事業終了後の運営戦略まで整えられるのかは要確認するところと思います
- ✓ 研修計画は綿密に計画されていると感じます。事業目標に向けては習熟度アンケートの活用が重要になると考えます。
- ✓ 臨時雇の方の役割は何か、事務等であれば、より共感して仲間になってくれる方を探してみるのはいかがでしょうか。求人やボランティア集めの情報発信費用を入れてもよいかもしれません。
- ✓ 研修やケースは重要で良いものになると思われませんが、その後の継続的な活動については読み取れ

ませんでした。

- ✓ 出口戦略に記載されている通り、研修会等を通じて他団体と培ったネットワークの維持・向上には、継続した情報発信が重要と考えます。
- ✓ いつくるか分からない大規模災害+広域避難。継続の難しさ<sup>11</sup>
- ✓ 事業趣旨にかかる活動の継続に向けては、資金計画における人件費見合い分の担保または継続可能体制の構築が課題と考えます。
- ✓ 岡山においては既存のネットワークの強化のように読み取れました。
- ✓ 広域避難の準備は新しい。
- ✓ これまでの個別支援を効率化してより良くする取り組みと思います。
- ✓ 他団体との連携により多くの広域被災者支援に繋がると考えます。<sup>12</sup>
- ✓ ケースの共有で有事の際の支援に役立つと思います。
- ✓ 県内民間の強い防災体制は他県の参考になると思います。
- ✓ 3年後の出口戦略は（資金面、活動面ともに）もう少し練ったほうが良いと思いました。
- ✓ ケースマネジメントも踏まえて、広域避難ではないケースも考えながら広域避難につなげてほしい。